

# COP15: CIの評価と今後の展望 — REDD+と生態系の機能を活用した適応 —

2009年1月15日

コンサベーション・インターナショナル・ジャパン  
名取洋司

## Outline

- COP15での目標
- CIのREDD+関連活動
- COP15の評価
- 今後について

# COP15での目標

- REDD+の実現
- 生態系の機能を活用した適応  
(Ecosystem-based Adaptation)の実現
- 交渉の把握・情報提供
- サイドイベント開催

# Conservation International

## ビジョン

自然は、人と地球のすべての生命に長期的な恩恵をもたらしてくれます。この自然を守り尊重し続ける社会、健やかで繁栄した世界を、私たちは目指します。

## ミッション

コンサベーションインターナショナルは、科学、パートナーシップ、そして世界各地での実践に基づき、次世代に豊かな自然を引き継いでいく社会を実現し、人類の幸福に貢献します。

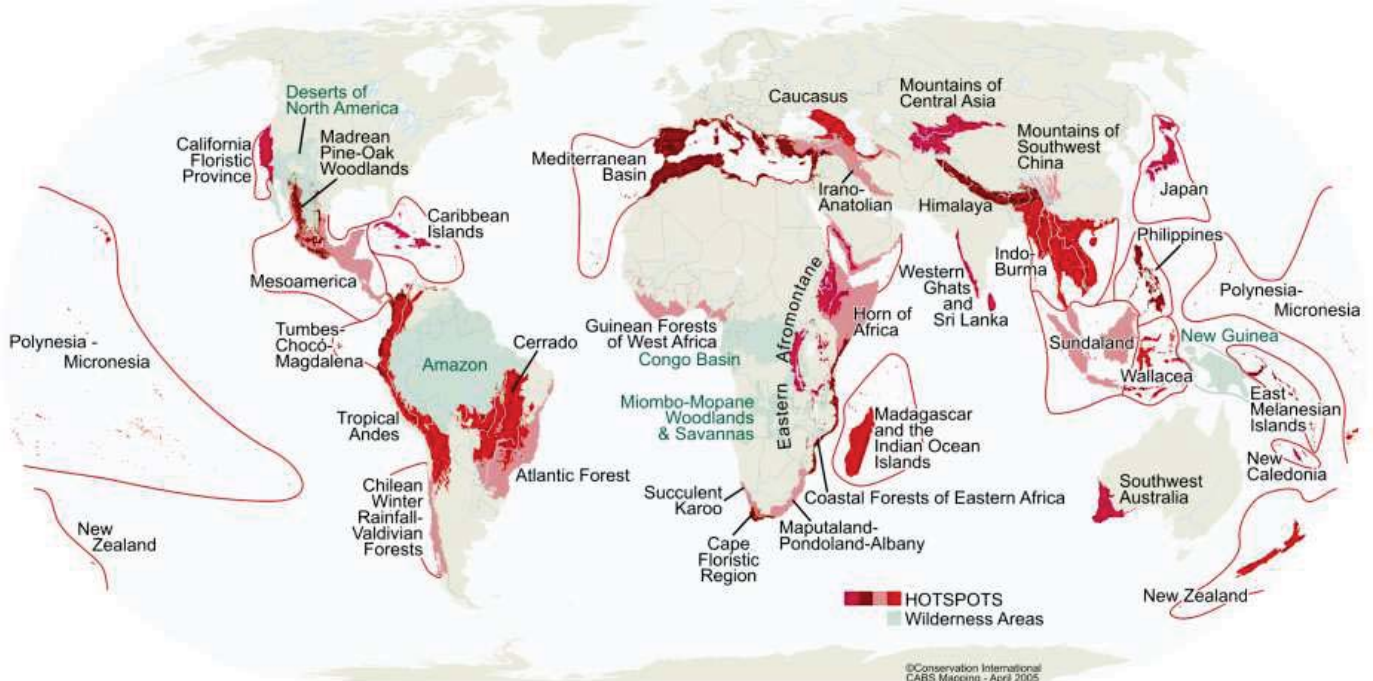
# ORGANIZATION

- ◇ 名称: コンサベーション・インターナショナル (CI)
- ◇ 設立: 1987年
- ◇ 理事長/CEO: Peter A. Seligmann
- ◇ 事務所: 米国バージニア州アーリントン(本部)、  
フィールド事務所、欧州事務所、日本事務所
- ◇ スタッフ: 約900名(生物学者、人類学者、経済学者、  
マーケティング、IT専門家などを含む)
- ◇ ドナー: 企業、個人、財団、政府、国際機関など
- ◇ 活動対象地: 4大陸世界40カ国以上
- ◇ 活動パートナー: 政府、企業、国際機関、大学、  
NGOなど



## 生物多様性ホットスポット

生物多様性が高いが同時に危機に瀕している地域  
(地表面積のわずか2.3%でありながら、地球上の脊椎動物の75%が生息)



# CIのREDDに対する考え方

- REDDは、生物多様性保全、気候変動対策、そして持続可能な発展に向けた総合的な取り組みとなるべき
- 先進国の削減努力へのより積極的なコミットメントはもちろん、先進国が途上国の削減努力を引き出すよう国際社会が一致努力することが重要
- そのためには、REDDが気候変動枠組条約の下に、明確に気候変動対策として位置づけられるべき。
- 気候変動緩和策としてだけでなく、適応策(Ecosystem-based adaptation)として、そして社会、経済、生物多様性保全などへの便益・貢献を創出するよう計画・実施されるべき
- そのためには、「REDD+」がより望ましい

REDD+ = REDD(排出削減) + 森林回復 + 環境に適した在来植生の植林 + 持続可能な森林経営 + 原生林の炭素ストックの保全 とし、メカニズム開始時より検討・組み込むことを提唱



## CIが提唱するREDD+

### 気候変動対策への明確な貢献

- 森林破壊・劣化の防止によるGHG排出の削減
- 森林による吸収・固定量の増加

### 生物多様性保全への貢献

- 森林生態系の保全
- 生物多様性重要地域(KBAなど)の保全と回復

### 地元コミュニティの持続可能な発展への貢献

- 持続可能な森林経営
- 雇用の創出
- 生態系サービスの保全・回復
- 自然災害の防止(適応策)



# 途上国における森林ガバナンス

途上国における、REDDのための森林ガバナンスを構成する要素(例)

土地利用権の所在

現地の人々の  
森林利用・管理状況

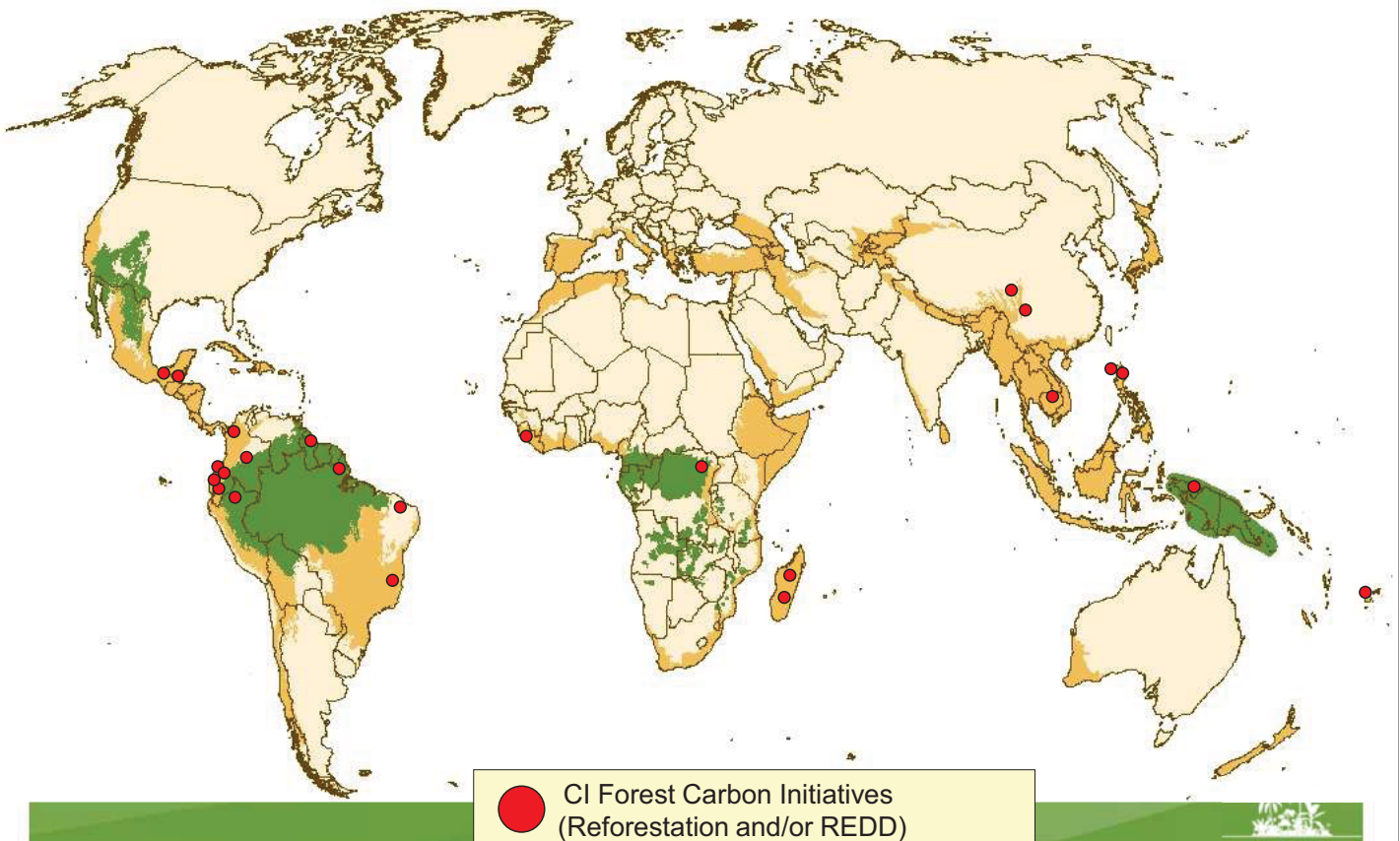
土地利用計画や  
土地の利用方法における  
合意形成

経済分析：  
森林の利用と  
REDDによる経済効果を  
比較分析

©All rights reserved by CI



## 森林炭素プロジェクト分布図



©All rights reserved by CI



# CIによるREDD支援

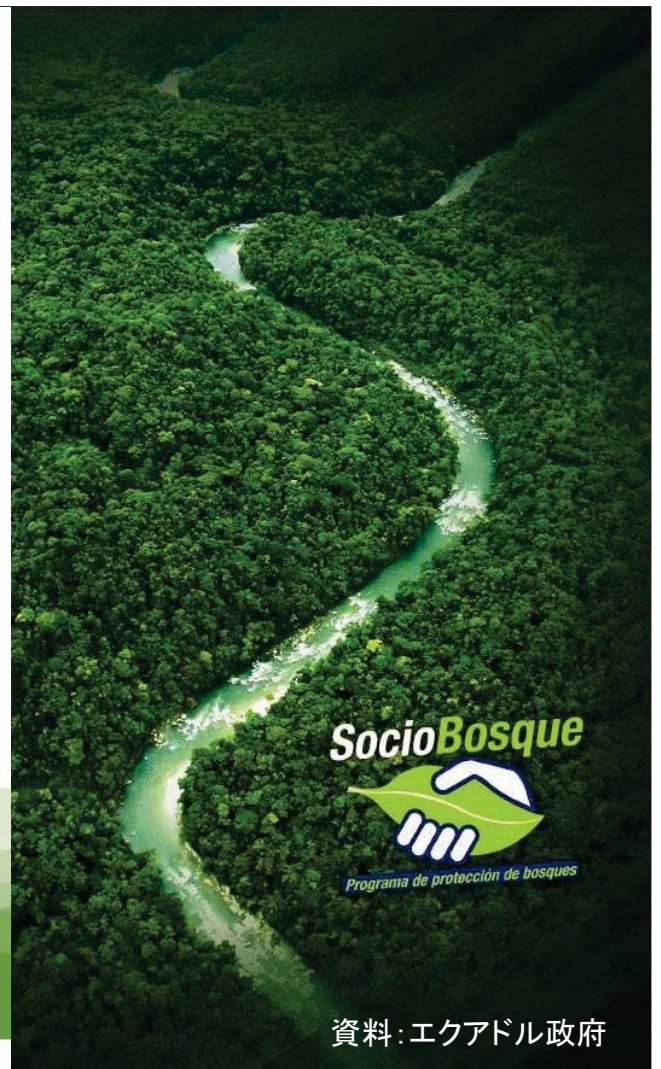
FCPFへの参加支援→Readiness支援: ボリビア、グアテマラ、ガイアナ、インドネシア、リベリア、マダガスカル、ペルー、スリナム、コロンビア、メキシコ  
FCPF以外でのReadiness支援: ブラジル、エクアドル、フィリピン、コンゴ民主共和国、パプアニューギニア、カンボジア



## 例 エクアドル

### Socio Bosque

- 森林とその生態学的、経済的、文化的価値を守ること(400万 ha)
- 森林減少率を低下させ、温室効果ガスの排出を削減する
- 貧困に苦しむ人々の生活状況を改善する (100万人の参加者＝受益者)



資料: エクアドル政府

# 例 スリナム

## グリーン開発計画“Suriname Green”

- ◆ 次期国家開発計画(2012-2017)を、環境的持続可能性を軸に展開
- ◆ 政策改革、経済開発計画、政府機関のキャパビルの実施により、低炭素・環境重視型の経済成長を目指す。HFLD国として、RED D+への取り組みを明言、グリーン開発計画における主軸として位置付け
- ◆ 主要実施項目(予定):
  - ❖ 鉱物採掘による影響の低減
  - ❖ 低炭素型エネルギー供給(太陽熱、水力等)
  - ❖ 土地利用計画に基づく持続可能な土地利用
  - ❖ エコツーリズムの推進
  - ❖ 環境重視型経済成長へのコミットメントをブランド化

©All rights reserved by CI



# CCB Standards

The Climate, Community & Biodiversity Alliance

(個別プロジェクト用の  
スタンダード)

## CCBスタンダード第2版の概要

### 総合セクション(必須)

- G1. プロジェクト実施前の対象地の状況
- G2. ベースラインの予測
- G3. プロジェクトの設計と目標
- G4. 管理能力とベストプラクティス
- G5. 法律上の状況と財産権

### 気候、地域社会、生物多様性の 個別セクション(必須)

- 1. 実質プラスの効果
- 2. 対象地外での影響評価・対策
- 3. 影響のモニタリング

### ゴールド・レベル・セクション(オプション)

- GL1. 気候変動への適応効果
- GL2. 特に優れた地域社会への効果
- GL3. 特に優れた生物多様性への効果

### CCB スタンダードの認証レベル



**認証** - 全ての必須項目に適合するプロジェクト



**ゴールド認証** - 全ての必須項目に適合し、さらに、オプションのゴールド・レベル基準の少なくともひとつに適合するプロジェクト

©All rights reserved by CI



# REDD+ Social and Environmental Standards

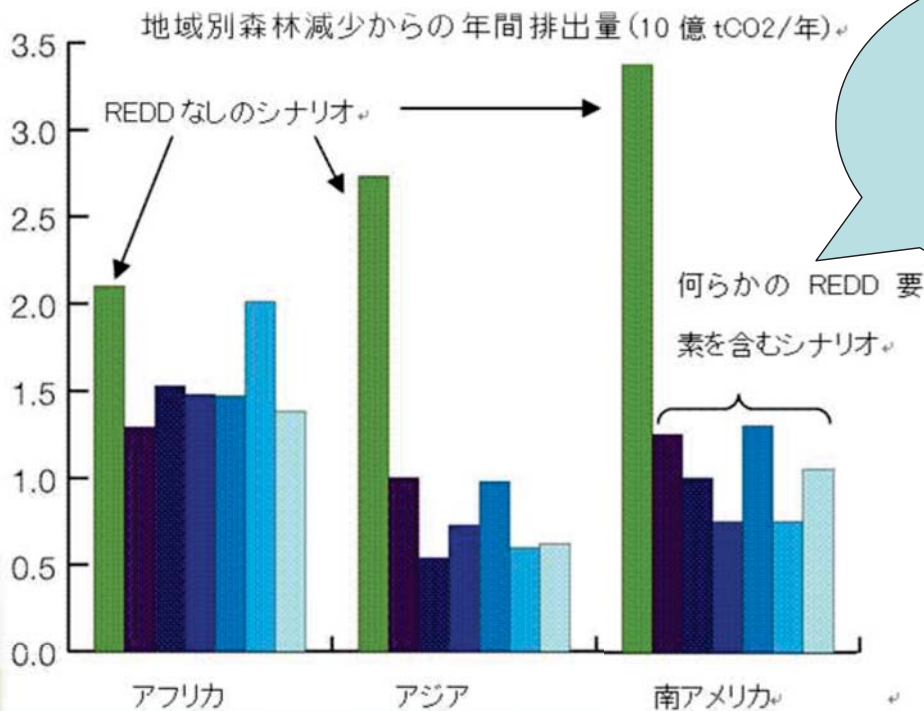
(国・政府が行うREDD+プログラム用のスタンダード)

- CCBAとCAREが開発を先導
- 政府のREDD+プログラムのためのスタンダード
  - 住民の権利、貧困対策、生物多様性の保全に貢献
  - 社会的・環境的悪影響を回避
- 理念(Principles)と基準(Criteria)からなるフレームワーク
- 国ごとに指標づくり進行中(エクアドル、ネパール、タンザニア)

©All rights reserved by CI



## OSIRISシミュレーションによる REDDシナリオの検討



REDDの仕組みがいかなるものであれ、REDDを組み込んだ方が、組み込まない場合より大きな排出削減効果が見込まれる。

REDDの経済学についてのモデリング研究

<http://www.conservation.org/OSIRIS>

©All rights reserved by CI





# HFLD国のREDD参画の重要性

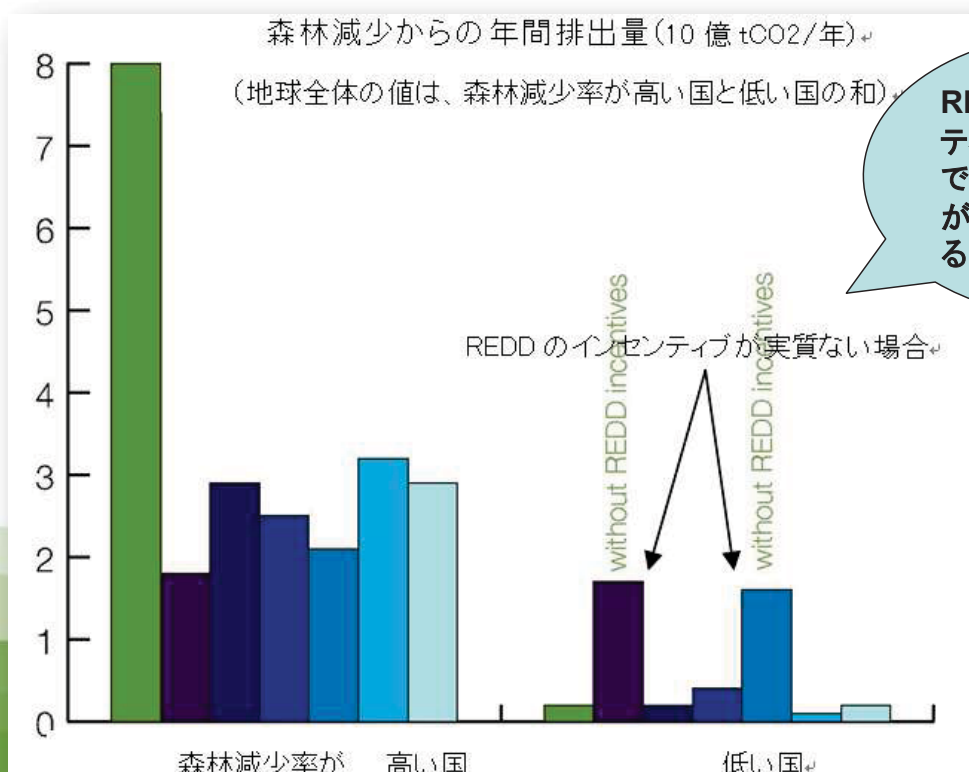
- HFLD(森林率が高く歴史的に森林減少が低い) 国:ガイアナ、スリナム、コンゴ共和国、パナマ、コロンビア、ペルー、ベリーズ、フランス領ギアナ、ガボン、ブータン、ザンビアなど
- HFLD国における炭素蓄積量は膨大(全世界の約18%)
- 現時点で森林減少率の低い国々が世界的な木材需要拡大の中で森林を守っていくためのインセンティブを形成することが重要
- 地球規模での排出リーケージを防ぐメカニズムの構築が重要

©All rights reserved by CI



## OSIRISによるシミュレーション:

### REDDインセンティブの与え方による排出量のシミュレーション



©All rights reserved by CI



# COP15の評価(1)

- コペンハーゲン合意 (Copenhagen Accord)
  - 平均気温上昇2°C以内
  - REDD+の重要性の確認
  - 2010~2012年で300億ドル、2020年までに年間1000億ドル(REDD+を対象に含む)
  - Copenhagen Green Climate Fundの設立

©All rights reserved by CI



# COP15の評価(2)

- REDD+へ35億ドルの支援表明

(日米英仏豪ノルウェー)



## NEWS RELEASE

United States Department of Agriculture • Office of Communications • 1400 Independence Avenue, SW  
Washington, DC 20250-1300 • Voice: (202) 720-4623 • Email: [oc.news@usda.gov](mailto:oc.news@usda.gov) • Web: <http://www.usda.gov>

Release No. 0618.09

Contact:  
Chris Mather 202-257-8446

**UNITED STATES ANNOUNCES \$1 BILLION TO REDUCE FOREST EMISSIONS**  
***U.S. contribution part of \$3.5 billion joint announcement from Australia, France, Japan, Norway, the United Kingdom, and the United States***

COPENHAGEN, Denmark, Dec. 16, 2009 - Agriculture Secretary Tom Vilsack today announced the United States, joined by Australia, France, Japan, Norway, and the United Kingdom, agreed, in the context of an ambitious and comprehensive outcome in Copenhagen, to dedicate a total of USD3.5 billion as initial public finance towards slowing, halting and eventually reversing deforestation in developing countries. This funding will help facilitate immediate actions in REDD+ (Reducing Emissions from Deforestation and Degradation) for the years 2010-2012.



## COP15の評価(3)

- 各国の目標発表(森林関連)
  - ペルー:2020年までに森林減少ストップ
  - ブラジル:2020年までに森林減少を80%削減
  - ガイアナ:低炭素発展戦略、など

©All rights reserved by CI



## COP15の評価(4)

<http://www.conservation.or.jp>

### Press Releases : プレスリリース 2009年12月22日

**コンサベーション・インターナショナルがCOP15を総評  
先進国と途上国双方多数による合意を評価するもの  
の、気候変動対策の実質的対策の遅れと森林の減少と  
劣化を止める手立ての先送りを懸念 -**

(2009年12月22日) - 国連気候変動枠組み条約第15回締約国会議(COP15)において、主要国がまとめ、「留意」することが決議された「コペンハーゲン合意(Copenhagen Accord)」に対し、コンサベーション・インターナショナル(CI)は、「期待されていた法的拘束力のある新たな枠組みではなく、森林減少や適応に対しても重要な対応策を欠いているものの、今後への望みをつなぐもの」と表明した。

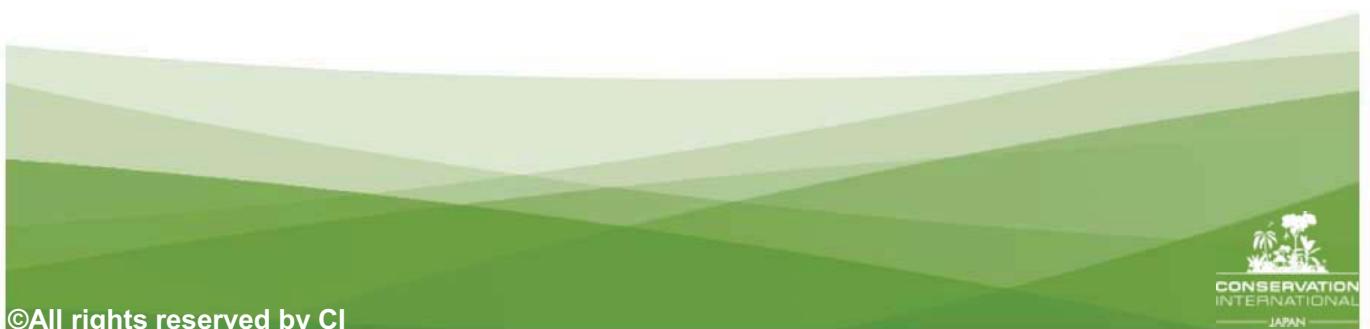
コペンハーゲン合意において、長期目標として気温上昇の摂氏2度以下での安定、長期的な対策資金の準備、透明性のある排出削減の報告、途上国支援の迅速な開始について、先進国と途上国の双方を含む多くの国々が合意したことは、かつてない前進である。しかし、具体的な実効策が先送りされたのも事実である。気候変動に対応するために残された時間はわずかである。一刻も早く実行性ある枠組みに合意することをCIは各締約国に要請する。

©All rights reserved



# 今後について

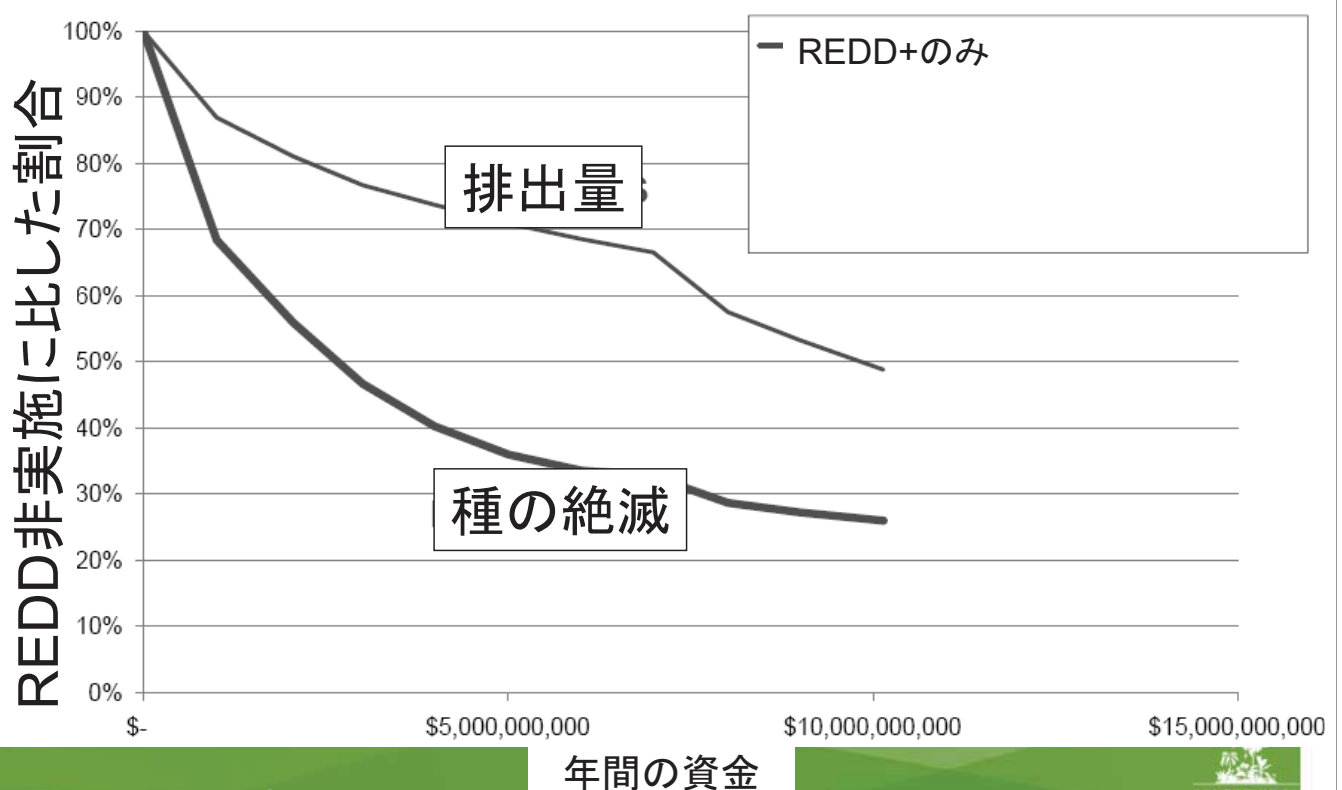
- 法的拘束力のある合意
  - 短期・中長期的ファイナンス
  - (Readiness支援の早期実施)
  - 生物多様性条約COP10との関連
- (相乗効果)



## 生物多様性保全と気候変動対策の相乗効果

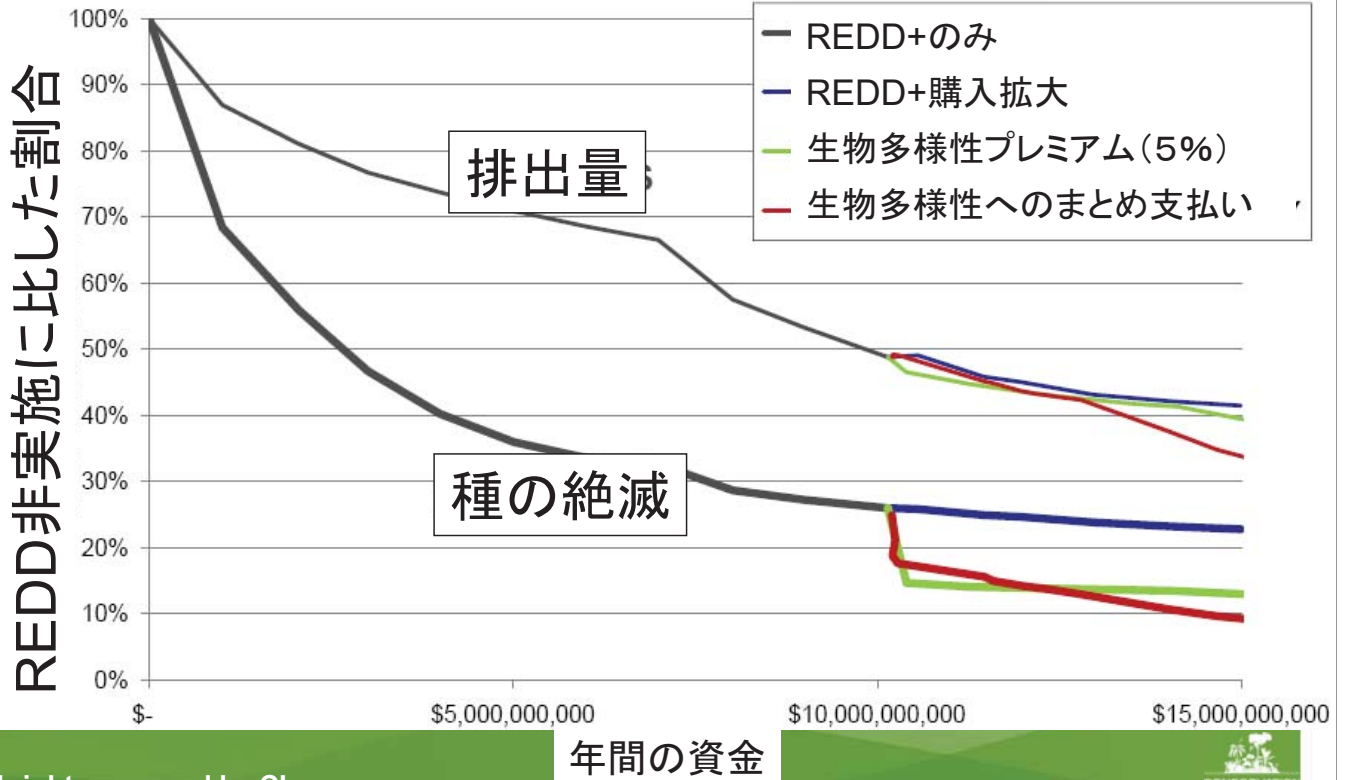
(OSIRISシミュレーション)

<http://www.conservation.org/osiris>

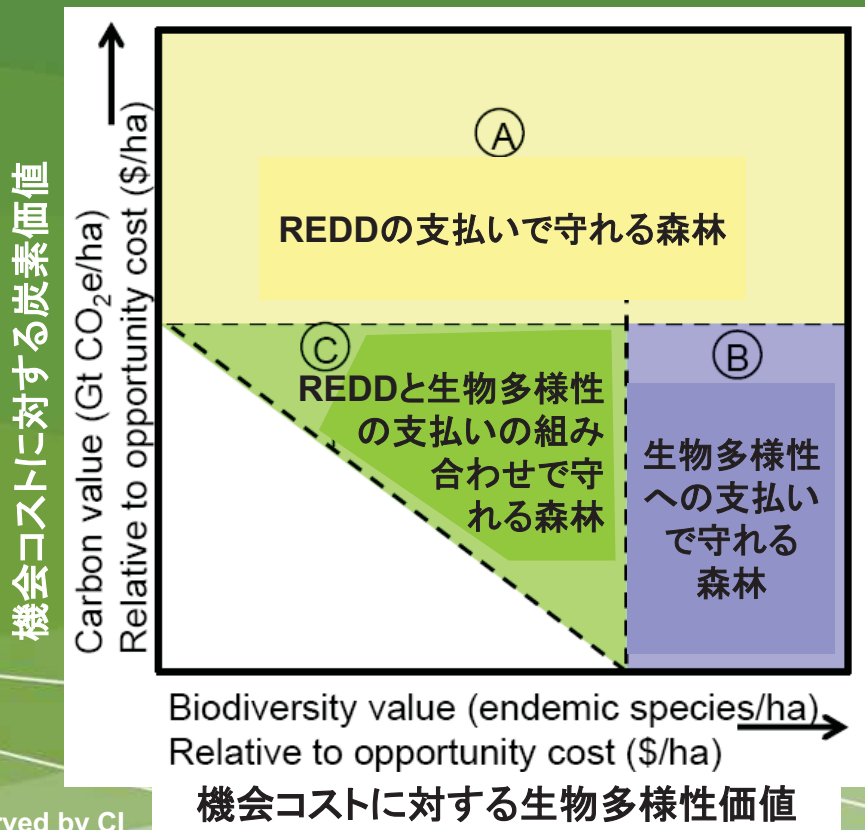


# 生物多様性保全と気候変動対策の相乗効果 (OSIRISシミュレーション)

<http://www.conservation.org/osiris>



## 気候変動対策と生物多様性保全の相乗効果 (経済的観点から)



# 気候変動対策と生物多様性保全の相乗効果 (その他の観点から)

REDD+ = 人間と森林のかかわりのあ  
るところでの活動 → Satoyamaイニシア  
ティブ

REDD+ = 自然生態系の保全・復元  
= 生物多様性対策・自然再生事業  
→ 生態系の機能を活用した適応

先住民族・地域住民の権利の確立  
→ 責任ある土地利用  
→ 利益・恩恵の享受  
→ MDGsの達成

©All rights reserved by CI



ご清聴ありがとうございました

